

5 稲を守り育てる 〈5月中旬～9月上旬〉

庄内平野の米づくり ～おいしい庄内米ができるまで～



(1)



田植えをしてから、株分かれが終わるまでの稲は、水管理に注意をはらい、田んぼの雑草を防除することが大切なんじゃ。



昔は草とりが大変だったのよ。

① 生育調査をする 〈6月上旬～9月上旬〉

調査する日を決めて、稲の背丈や株分かれの数、葉の枚数、葉の色など生育状況を調べ、前の年や生育の標準となる稲の姿などと比較して、生長の状況を確認、今後どのように管理すれば良いか計画をたてます。



定期的に生育の状況を調べる

② こまめに水管理をする 〈5月中旬～9月上旬〉

田植え後、新しい根が出て、苗が手で引き抜くことができない状態（活着といいます）になったら、これまでの深水管理から、日中は浅水、夜に深水にして稲の生長を促します。

注）稲作では一般的に「ふかみず」「あさみず」と読みます。

田植えから刈り取りまでの水管理

